

# ボウリング競技(知的部門)申し合わせ事項

開催日：令和3年5月23日(日)  
会場：東京ポートボウル

## 競技規則

本項に定める以外は、令和3年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

## 競技方法

- (1) 競技はヨーロピアン方式で行う。
- (2) 各グループ内2ゲームの得点合計ピンの多い者から勝者の順位を決定する。
- (3) 同数の場合は、同じ順位を与える。
- (4) ボウリングシューズ、ボールは個人所有のものを使用することが望ましいが、所有していない場合は、ハウスボール、ハウスシューズを使用すること。(シューズ借用料400円)。  
※ハウスシューズを受け取った後、フロントにてお支払いください。受付時にお伝えします。
- (5) 大会の運営、競技の運営・進行については、全て大会役員、審判の指示に従うこと。
- (6) 出場選手は、男女ともボウリング競技をする上で支障のないものを着用すること。

## 注意事項

- (1) 申込書は様式個人競技-6「ボウリング競技参加申込書」を提出すること。
  - (2) 競技は以下の3グループに分けて行う。
    - ・Aグループ 少年男子(～19歳)・全ての女子 受付9時00分～ 競技9時30分～11時30分
    - ・Bグループ 青年男子(20～35歳) 受付11時30分～ 競技12時～14時
    - ・Cグループ 壮年男子(36歳～) 受付14時00分～ 競技14時30分～16時30分
  - (3) 試合欠場の連絡は、なるべく前日までに(公社)東京都障害者スポーツ協会に連絡すること。
  - (4) 出場選手は、試合当日受付で選手名簿に登録されていることを確認すること。
  - (5) 試合終了後は、ボックス付きの役員と共に表彰式の場所に移動し、ボックスごとに表彰を受ける。表彰終了までは必ずゼッケンを着用したままであること(表彰式終了後は各自持ち帰る)。今年度の表彰式では、1位から3位の選手のみメダルを授与し敢闘賞のメダルは授与しない。表彰は、試合終了後、各組ごとに行うため、組ごとに時間が異なるので注意すること。
  - (6) 競技開始後、選手、審判以外のボーラーズベンチへの立ち入りは禁止する。必要のある時は、審判の許可を得てボウリングシューズに履き替えて入ること。
  - (7) 競技中、選手がトイレを使用する時は、審判の許可を受け、靴を履きかえてトイレに行くこと。
  - (8) 特別な理由が無い限り、競技中は飲食を禁止する。
  - (9) 控室、休憩室は特別に設けない。緊急の場合は本部に連絡すること。
  - (10) 出場選手が所属する団体から欠場選手が出た場合、未登録の選手が代わりに出場することはできない。
  - (11) プログラムのミスプリント、欠落がある場合、事前に分かった場合は(公社)東京都障害者スポーツ協会に連絡すること。
  - (12) 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、競技方法や招集方法、表彰等に変更が生じる場合がある。
- ※プログラムやナンバーカードは、選手の所属する団体又は選手個人に事前に送付する。

## ※障害別参加区分

区分番号	障害区分
1	知的障害